



「スモス号」が1日から（鈴木光明社長）が地域住  
民らで作る運行主体と新たな  
「タクシー空白化」をに契約し3カ月ぶりの再ス  
タートにこぎつけた。

三本木タクシーの協力で復活した「スモス号」の再出発式、大崎  
（1日、JR松山駅前）市松山総合支所提供

運行休止から再開に  
至る経緯は本紙・東日本版（「タクシー」の消えた街）5月16日・23日（各号）で報道。  
今年3月、同市松山総合支所は「松山地域内は当初400円で

るまでの平日のみ午前8時  
から午後4時に1時間間隔  
などの運行体制は継続だ  
が、1人1乗車の料金を松  
山地域内は3000円に、市  
民病院や商業施設のある隣  
接の鹿島台地域は6000円  
にそれぞれ1000円値上げ  
した。大崎市が補助するタク  
シー事業者への運行委託  
料も1日1万5000円か  
ら1万6000円に増額し

乗車料金の値上げについ  
て同市松山総合支所は「松  
山地域内は当初400円で  
スタート後、2000円以下  
に下げた。今回は収支改善の  
ために再び上げた。地域住  
民には運行タクシー会社が  
事業休止した経緯も踏まえ  
理解いただけると思う」（地  
域振興課）としている。行  
委託料を若干増額しても

運行を受託した三本木タク  
シーは松山地域のタクシ  
ー需要対応のために増車し  
た2台のうち1台を乗合タク  
シーに充当。

鈴木社長は「市からの運  
契約期間の運行体制に万全  
を期す構えだ。

頼で国内の観光・宿泊・交  
通などの手配・予約を行っ  
てきたが、台湾との関係強  
化を目的に現地事務所を1  
日に開設。県内の花巻空港  
と台湾桃園空港を結ぶチャ  
ーター便が現在就航してお  
り、来春の定期路線化に向  
け、岩手・東北への観光客  
誘致拡大を目指す。

の海外旅行（アウトバウン  
ド）の相互の機能強化を目  
的に、①台湾事務所開設  
②第1種旅行業登録③中国  
訪日観光受入旅行会社連絡  
協議会（中連協）加盟―  
を行ったと発表した。  
岩手県北バス子会社の同  
社は、海外の旅行会社の依  
頼で国内の観光・宿泊・交  
通などの手配・予約を行っ  
てきたが、台湾との関係強  
化を目的に現地事務所を1  
日に開設。県内の花巻空港  
と台湾桃園空港を結ぶチャ  
ーター便が現在就航してお  
り、来春の定期路線化に向  
け、岩手・東北への観光客  
誘致拡大を目指す。

目指す。岩手県からの台湾  
旅行を現地事務所も生かし  
特に積極的に企画する。  
中連協には昨年10月14日  
に県内初、東北で2社目に  
加盟。中国人団体の取扱旅  
行会社に観光庁から指定を  
受け、中国からの訪日旅行  
の独自推進が可能に。  
グループの交通ネットワー  
クも生かしたインバウン  
ドの拡大、地域空港と近県  
の交通利便性を高めるなど  
アウトバウンド活性化も図  
り、グループ全体で観光交  
流人口の拡大に貢献してい  
く方針だ。

これに先立ち、第2種か  
ら第1種旅行業者に6月22  
日付で変更登録し、独自の  
海外旅行商品の展開が可能  
に。青森、秋田の旅行会社  
と連携し北東北からアジア  
圏への海外旅行客の増加を

# 「飲酒運転根絶、願う」



JD共済（小樽）も書道  
コンクール作品採用  
運代行のJD共済協 地酒を販売するのは小  
組（丹澤忠義理事長）の 樽市の酒造会社、田中酒  
飲酒運転根絶をテーマと 造（田中一良社長）。同  
する「SDD全国」の作品 社の代表ブランド「宝川」  
書道コンクール」の作品 （7200円、税込み）  
が、地酒のラベルに採用 3400円）に採用された。  
され話題を集めている。 6月28日、市内で開かれ

## 地酒ラベルにメッセージ

た飲酒運転根絶イベント 転根絶ラベルを貼った十  
で披露された。 勝ワインを企画したが、  
ラベルの書道作品は、 酒類販売免許の壁があっ  
2015年北海道・東北 た。今回、田中酒造さんか  
ブロック最優秀作「刃物 らPRしていただいた」  
でも 酔っぱらった車で と謝意を述べるとも  
も 命を奪えば 殺人 に、「殺人犯」という  
犯（中学1年・鶴見萌 強い言葉が入ったお酒を  
花さん）。 売る、相応な覚悟に敬意  
田中酒造では「イベン を表したい」と話す。  
トでお客さまが試飲され J D共済協組では「小  
るときは、車で来いな 樽警察署の担当者から書  
いか確認を徹底している 道に対する意識が高まっ  
ところであり、飲酒運転 ていると同った。啓発意  
根絶を願っている」とい 識を高めるきっかけとし  
い、7月13日まで期間限 て、全国から寄せてくだ  
定販売する。 さった子どもたちの尊  
全国運代行協会北海 メッセージを「活用いた  
道支部の樋渡義章支部長 だければ」（事業推進企  
は「支部で昨年、飲酒運 画部）と話している。

### 小樽で飲酒運転根絶イベント 全運協北海道支部長が訴え



全国運代行協会北海道 の大型商業施設で開かれた  
支部は6月28日、小樽市内 飲酒運転根絶イベントに参  
画、樋渡義章 支部長がト  
クショーに出 演し、飲酒運  
転根絶と運転 代行利用を訴  
えた。写真。  
トクショー  
ーはFMおた りはFMおた  
るの野口沙代 アナウンサー  
を司会に、故 めた7月13日を前に開か  
石原裕次郎さ れ約300人が集まった。

ん妻・まさ子さんら6人  
が飲酒運転根絶について語  
った。  
樋渡支部長は飲酒運転に  
よる悲惨な交通事故につい  
て、「決してお酒を飲むこ  
とが悪いのでない。お酒を  
飲んだ後の判断が間違った  
結果」とし、「お酒は楽し  
く飲んでください。自宅に  
着くまでかかる費用が飲食  
代。飲酒したら運代行や  
バス・タクシーの利用を」  
と呼びかけた。

イベントは小樽警察署な  
ど主催。北海道が条例で  
「飲酒運転根絶の日」と定  
めた7月13日を前に開か  
れ約300人が集まった。

「憂慮」。「覚せい剤や飲酒運...」

した。子ども連れの家族の